

April 2012

徳島県博物館協議会 NO. 39 ニュース

<目次>

- 鳴門市ドイツ館 ○あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）阿波木偶資料館 …… 1
- あすたむらんど徳島子ども科学館 ○鳴門市ドイツ館 ○藍住町歴史館「藍の館」 …… 2
- 大鳴門橋架橋記念館 ○三好市井川ふるさと交流センター民俗資料館 …… 3

- 徳島県立近代美術館 ○徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 ○JパワーよんでんW a ンダーランド …… 4
- 徳島県立佐那河内いきものふれあいの里 ○東福寺美術館 …… 5
- 上板町歴史民俗資料館 ○とくしま動物園 …… 6

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は51



館で組織しています。加盟館の情報については、県内の観光施設等の店頭においてあります「博物館マップ」をご覧ください。またWEB上の「徳島県博物館マップ」でもご覧になれます。

情報コーナー

旧永井家庄屋敷

「つるぎの町の雛祭り～桃花遊々～」



切妻本瓦葺の門を開くと、築地塀に囲まれた550坪の敷地。その中には母屋（主屋）、蔵、ネドコ等の建物群と、鶴亀蓬莱庭園（座視鑑賞式）が広がる。さらに庄屋としての特別な格式を備えた間取りは、他の民家とは明らかに趣を異している貴重な文化遺

産である。

—イベント—

○つるぎの町の雛祭り～桃花遊々～

日時：4月7日（土）、8日（日） 9:00～17:00
会場：旧永井家庄屋敷（徳島県美馬郡つるぎ町貞光字西浦37）、二層うだつの町並み、織本屋敷：無料

駐車場：有り（つるぎ町就業改善センター、つるぎ町役場本庁周辺）

イベントの問い合わせ：つるぎ町商工会

☎ 883-62-2222

〒779-4101 美馬郡つるぎ町貞光字西浦

☎ 0883-62-2018

あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）—阿波木偶資料館—

「常設展示・無料」

あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）5階にて、阿波人形浄瑠璃の木偶カシラ・衣装・小道具類を展示している。木偶の種類別、時代別また作者別に木偶カシラを展示している。

なお、第27回国民文化祭開催に合わせて、平成24年9月にリニューアルオープンをする予定。そのため、平成24年4月以降、工事・準備等による閉館があり。

〒770-0835 徳島市藍

場町2丁目14

☎ 088-622-8121



情報コーナー

あすたむらんど徳島子ども科学館

●プラネタリウム

○黒い太陽

2009年7月22日、日本で46年ぶりの皆既月食が起こった。日食のメカニズムと現地の映像を見ながら、今年5月21日に徳島でも見ることができる金環日食の予習をしよう！

投映日 5月25日(金)まで

※スケジュールが変更になる場合がありますので、詳しくはHPまたは電話でお問い合わせ下さい。

●子ども科学館

○あそびのワンダーランド

開催日 4月15日(日)「たのしいわなげ」
5月17日(日)「ボールであそぼう」

場 所 子ども科学館多目的ホール

時 間 11:00～14:00

対 象 幼児とその保護者

参加費 無料

○サイエンス玉手箱「ガチ・チャレ！」

パターゴルフやロッククライミング、体内時計など自分の限界にチャレンジ！

開催日 4月28日(土)～5月6日(日)
5月12日(土)・13日(日)・19日(土)
20日(日)・26日(土)・27日(日)

場 所 子ども科学館特別展示室

時 間 5月6日まで 9:30～17:30

5月12日から 9:30～16:30

参加費 常設展示またはプラネタリウムの観覧券が必要

あすたむらんど徳島では、春休みやGWなど、たくさんのイベントを用意して皆様のお越しをお待ちしております。

各イベントの詳細については、催し案内かHPでご確認していただくか、お電話でお問い合わせください。

〒779-0111 板野郡板野町那東字キビガ谷 45-22

☎088-672-7111

HP: <http://www.asutamuland.jp/m/>



鳴門市ドイツ館

「ドイツ館の紹介」

鳴門市ドイツ館は、第一次大戦中に板東俘虜収容所で暮らしたドイツ兵と地域の人々との交流を顕彰するために建設された史料館です。

松江豊寿所長は戦時下という状況にありながら、収容所の自主的な運営を認め、音楽や演劇など多彩な活動に取り組みました。

中でもベートーベンの交響曲第九番がアジアで初めて演奏された地として有名で、実物大の人形が演奏を聴かせる「第九シアター」で当時の様子が再現されています。



〒779-0225

鳴門市大麻町松字東山田 55-2

☎088-689-0099

藍住町歴史館「藍の館」

「阿波藍発見！」

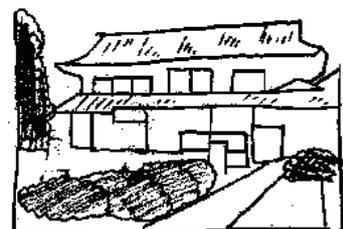
藍の館はすぐ南側に吉野川が流れています。全建造物は13棟で徳島県の有形文化財に指定され、母屋が建てられたのは文化5年(1808)です。

藍の生産や流通、取引などと文化経済など当時の様子が興味深く見学でき、藍のすべてがわかる藍の専門の資料館です。又、藍染め体験コーナーもあり大変にぎわっています。

町の誇りであり、宝である藍の館は、文化財として学習の場・観光として広く利用されています。その他、徳島伝統の藍染め「親子体験教室」とか「藍の訪問授業」も行っております。

〒771-1212 板野郡藍住町徳命字前須西 172

☎088-692-6317



情報コーナー

大鳴門橋架橋記念館

大鳴門橋架橋記念館エディでは春休み限定企画として「エディ」と「渦の道」の【共通券】を購入されたお客様にオリジナルクリアファイルをプレゼント!!

また、もっとも渦が大きくなる春の期間中(4月30日まで)に「春の鳴門においでよ!春の渦祭り」を開催します。

- 阿波踊り in 渦の道 (大鳴門橋遊歩道渦の道)
 - 鳴門百景写真館 (鳴門市ドイツ館)
 - 美術館で”春”を感じよう!渦ラリー (大塚美術館)
- など他にも様々なイベントを行います。(特典あり)

エディ入館の方にも春の渦まつり期間中特典があります。

※春の渦まつりのチラシ提示 (ダウンロード可)

その他のイベントや特典についてはホームページをご覧ください。

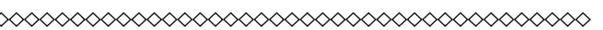
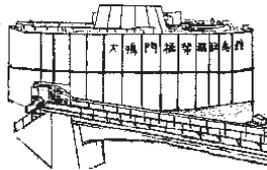
※お知らせ

ゴールデンウィークは8時から18時まで開館します。

〒772-0053 鳴門市鳴門町

土佐泊浦字福池

☎088-687-1330



三好市井川ふるさと交流センター 民俗資料館

「阿波刻たばこ器カンナ」

徳島藩の特産物の一つに刻^{きざみ}たばこがある。この製造地は特定されていて、三好郡の郷町池田町と準郷町東井川町辻が中心で商工業者がたばこの葉をさい刻して販売した。

初めは「とと(父)切り、かか(母)まき」として家族だけで生産していたが、その内に商人が数人の職人を雇って板と包丁だけの手刻で行っていた。そして次第にたばこ加工産業は拡大し、5・6人あるいは十数人が切り板を並べ葉たばこを重ねて板で押さえ包丁で刻む、いわゆる手工業的工場となった。製品の売れ行きが多くなると、業者間で熟練工の引き抜き等もめ事が多くなり、同時に必然的に能率的な製造方法の機械化に追い込まれた。そして、藩政後半になって機械が発明された。これが「カンナ」や「ゼンマイ」で、このゼンマイは江戸で発明され、明治10年代にこの地に導入

される。

嘉永3年(1850)の加工業者数は辻町が28、池田が20であった。

「カンナ」を発明したのは二説ある。一つは、辻町の大工内田久米蔵が伊勢神宮を参拝した帰り、大阪で昆布刻みの機械を見て参考にして安永5年(1776)に発明(この説は昭和50年代発表、日本専売公社中央研修所々長奥田雅瑞氏)、もう一つは、古くからこの地方で信じられ「大日本産業事蹟」(明治24年刊)にも記載されている、池田町中村武右衛門が寛政12年(1800)北海道の昆布刻み器を取り寄せ、池田町の大工滝下伊之助に作らせたとの説である。

この「カンナ」は、たばこの葉を束ねそれを板のように硬く固定させる。これには「しぼり器」という機械が別にあって、このしぼり機でたく固定させてその口をカンナで板を削るように削ると、細かくしかも大量に作ることが出来た。手刻みの五倍から七倍の能率が上がった。しかし、カンナで削る時に刃に食用油を塗らなければすぐに削れなくなり、そのため刻たばこが油臭くなるという欠点があった。この油のせいで味が悪くなり、江戸とか大坂での都市は余り売れなかったが、反面火を付けた場合、油の関係で火付きがよく、関東、北陸、北海道、九州の漁師の間では好評でよく売れた。

明治37年(1904)、煙草専売法を施行して、たばこの製造販売の全過程の全てを政府が独占することになった。そして、たばこ機械は全て政府の買上げとなり、何一つ手元に残すことは許されなかった。写真はJT「塩とたばこの博物館」に一台のみ残っているものの復元模型である。



たばこ刻み器カンナ

〒779-4802

三好市井川町岡野前64

Tel. 0883-78-4311

情報コーナー

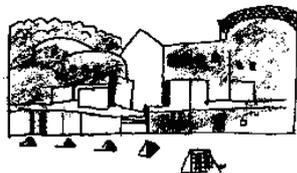
徳島県立近代美術館

特別展「どうぶつ集まれ ぞうさんの描いた絵と表された動物たち」

ゾウが描いた絵をご紹介するとともに、画家や彫刻家の表したさまざまな動物たちをご覧ください。

木彫で動物を表現する三沢厚彦、ミロコマチコの生き生きとした動物たち、赤松きよの石膏による動物のコーナーも設けました。

当館のコレクションからも、人と動物が表された作品が参加します。身近な動物も野生の動物たちも集まった、アートの動物園をお楽しみ下さい。



〒770-8070 徳島市八万町向寺山

☎088-668-1088

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

「郷土芸能 阿波人形浄瑠璃芝居」

○阿波十郎兵衛屋敷内の浄瑠璃芝居上演館では毎日11時～、14時～に定期上演をしております。

■イベント

3月17日(土)・18日(日) 阿波十郎兵衛人形浄瑠璃まつり弥生公演

4月15日(日) 第11回春期阿波人形浄瑠璃大会

6月16日(土)・17日(日) 阿波十郎兵衛人形浄瑠璃まつり水無月公演

徳島県内の大夫、三味線、人形座の競演をどうぞお楽しみください。

ご来観をお持ち致しております。



〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦184

☎088-665-2202

J'パワーよんでん Waンダーランド

当園は、電源開発(株)と四国電力(株)の橘湾石炭火力発電所の対岸に位置する体験型施設です。

屋内の展示コーナーでは、さまざまな「ふしぎ」に好奇心がふくらみ、発見する喜びを味わえます。

また、屋外にはWaンダーグラウンドをはじめ、趣向をこらした遊具や四季を彩る花畑などが広がり、元気に体を動かしたり、ゆったりとリフレッシュしたりできます。

◎平成24年4月～年5月の催し物案内(参加無料)

☆「橘湾石炭火力発電所 春休み個人見学会」

日時：3月24日(土)～4月7日(土)

所要時間／60分～90分

定員：1回に6名様まで

対象：小学生以上

★サンデーイベント(毎月第3日曜日開催)

対象：小学生

時間：①11:00～ ②14:00～

各20名(先着受付順)

4月15日(日)：「お母さんマグネット」

(準備物：特になし)

5月20日(日)：「リサイクルペン立て」

(準備物：トイレットペーパー芯3本)

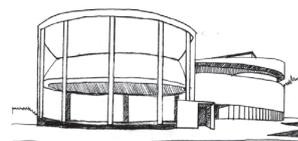
*上記行事の申込方法：お電話(0884-34-3251)

または直接スタッフまでお問い合わせ下さい。

《ゴールデンウィークも色々なイベントを開催予定です！お楽しみに！！》

※各イベントの詳細等については、当園へお電話(0884-34-3251)いただくか

当園HP(<http://www.jy-wonderland.jp>)にてご確認ください。



〒779-1620

阿南市福井町舟端1 Tel. 0884-34-3251

情報コーナー

徳島県立佐那河内
いきものふれあいの里

東福寺美術館

「平成 24 年度自然体験活動計画」
(4～7月)

本堂 国登録有形文化財登録記念展
「貞光寄寓の住吉派絵師三好賢古展」

- 4月
 - 14月1日(日)9時～12時 探鳥会「幸せの青い鳥」 C
 - 4月30日(月・休)10時～14時 草餅作り(友の会共催) E
- 5月
 - 5月3日(木・祝)10時～15時 春の妖精「カタクリ」の森を歩こう B
 - 5月9日(水)13時～15時 ツツジの轆轤山へ行こう 定員25 B
- 6月
 - 6月2日(土)18時～20時 探虫会①「ホテルの乱舞鑑賞」 D
 - 6月3日(日)10時～14時 夏鳥探訪 C
 - 6月16日(土)13時～16時 シリーズ・捕獲せよ①「投網で一網打尽」 A
 - 6月17日(日)13時～14時30分 森の音楽会①「オカリナ」 E
- 7月
 - 7月14日(土)8時～17時 ネイチャートレイル「日奈田峠～一の森へ」(友の会共催)定員20名 B
 - 7月16日(月・祝)10時～12時 シリーズ・捕獲せよ②「スコップで魚掘り」 A
 - 7月28日(土)13:30～7月29日13:30 まで キャンプ場祭り1泊2日(友の会共催) E

A・・・水生生物 B・・・植物 C・・・野鳥
D・・・動物・昆虫 E・・・その他

*申込方法:電話またはFAXでお申し込みください。

当時本堂が国登録有形文化財に登録されました。本堂には三好賢古画の襖絵が16面入っており、他に指画、軸装等で60点の作品を下記の日時で登録記念として、大和絵住吉派絵師三好賢古展を企画しました。

三好賢古は、天保10年(1839)に板野郡勝瑞で遠祖三好築前守長輝の子孫として生まれました。14才で藩の御用絵師守住貫魚に入門。18才で江戸の住吉派宗家住吉廣賢に入り、故実詳しく、風俗、人物、花鳥、山水を極め、33才で皆伝、高野山で仏画を研修した。明治6年(1873)34才で美馬郡貞光村に分家、三好賢古と名のる。同23年に徳島へ転籍、同32年に神戸へ転籍した。

勝海舟、山岡鉄舟、松方正義侯の知遇を得、京都八坂神社拜殿に三十六歌仙を描き、東宮殿下の御前揮毫をする。

神戸市に須磨美術館を大和絵会会主として計画中、大正8年(1919)に死亡した。

「大和絵住吉派絵師三好賢古展」

日 時：平成24年3月31日(土)より
4月5日(木)まで 入場無料
午前9時～午後5時

場 所：東福寺美術館

常説展として、阿波御用絵師の作品、仏画、千利休・小堀遠州・飯尾常房・閑々子等の書、蒔絵、古文書等100点を展示している。

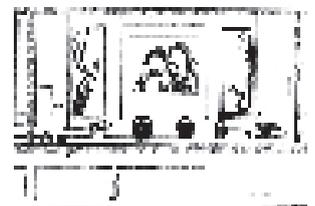
〒779-4109 美馬郡つるぎ町貞光字木屋341

☎0883-62-2207

〒771-4102 名東郡佐那河内村上字大川原5-8

☎088-679-2238

FAX088-679-2050



情報コーナー

上板町立歴史民俗資料館

「観音道参道ウォークについて」

昨年11月23日(水・祝)、上板観音道保存会主催で、観音道の周知を目的とするウォークを実施した。

観音道は、上板町神宅の大山寺から同町泉谷の和泉寺までを結ぶ参拝道で、道沿いには28体の観音菩薩等があり、その建立時期は、道標の刻印等から、江戸時代末期頃だと考えられる。

今回は、町内外から約150名が参加し、道中の観音菩薩や地蔵、青の洞門の見学を行い、5時間程度かけて道を往復し歩いた。参加者からは「整備ができていて、歩きやすかった。今度は一人でじっくり歩いてみたい」「上板町にこのような文化財があるとは知らなかった。景観が素晴らしく気持ち良かった」等の意見が聞かれた。また、当館を見学された参加者もいて、PRすることができた。

次回のウォークでは、観音道にまつわる資料も展示し、それについての興味・関心を深めるきっかけを提供したいと考えている。



観音二十一番

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1

☎ 088-694-5688



とくしま動物園

「新施設とイベント紹介」

当園では、ペンギンの解説というイベントで活きたアジをプールに放し、ペンギンたちがエサを捕獲する様子を観察してもらっていましたが、ガラス面が小さく40人程度しか観察してもらえませんでした。そのため、多くの来園者に観察してもらえるように、プールの観覧側をすべてアクリル板に改修いたしました。また、ピューマ舎も寝小屋の増設とパドックの拡充などを行いました。これらの改修により、平成24年度は、より魅力ある展示ができるようになりました。

4月29日から5月6日までのゴールデンウィークは、通常イベントに加え、日替わりで様々なイベントも行います。

企画展情報

○開園記念日およびゴールデンウィークイベント

4月29日(日)～5月6日(日)

○とくしま動物園写生大会

5月20日(日)～6月10日(日)

○動物愛護に関する標語の募集

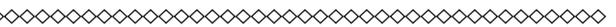
7月1日(日)～7月31日(火)

○サマースクール

7月29日(日)・8月5日(日)

〒771-4267 徳島市渋野町入道22-1

☎ 088-636-3215



徳島県博物館協議会ニュースNo.39

平成24年4月1日 発行

編集・発行者

〒770-8070

徳島市八万町向寺山

徳島県立博物館内

徳島県博物館協議会事務局

TEL. 088-668-3636

FAX. 088-668-7197